2025年度日系社会研修 コース概要

NO.	18
所管センター	中国
分野	農業
研修コース名（日）	高品質肉牛生産のための効率的・効果的な生産、繁殖、健康管理
受入人数	1
受入時期	上半期
来日	2025年5月11日（日）
帰国日	2026年1月31日（金）
提案団体（日）	山口大学
提案団体 ウェブサイトアドレス	http://www.vet.yamaguchi-u.ac.jp/members/kadokawa-p.html
研修員必要資格	<p>基本的な動物についての知識を身につけていること 獣医師でなくても畜産農家の師弟や畜産関係者や就農希望者であれば可能 心身共に健全であること 異文化の中で多くの人と一緒に働くための適応力や協調性があること 好奇心旺盛で、勉強好きであること 犯罪歴が無く、麻薬・薬物の使用者やアルコール中毒者でないこと 日本語は新基準N4相当が望ましいが、英語でコミュニケーションできるのであれば特に問題はない</p>
研修員に必要な 実務経験年数	不問
日本語能力（選択） ※日本語能力試験認定の目安参照	N4
英語能力（選択）	不問
研修目標	<p>夏場には、暑熱ストレスのダメージを受ける乳牛も題材としてとりあげ対策のための原理を理解する。研修の中では、最新の畜産学・獣医学の知見の習得と共に、高品質畜産物の生産現場での実習に基づきつつ、生産と共に両立させるべき繁殖管理を円滑に進めるために、問題要因を抽出・解析する能力を習得し、新しい効率的な疾病予防、繁殖、衛生管理等を含む総合体型を祖国で導入し展開するための基盤を習得する。</p>
期待される成果 （習得する技術）	<p>高品質畜産物を生産する上で求められる最新の栄養学や生理学、感染症を予防し消費者からの安心安全面からの信頼を得るための衛生学等の獣医学、生産効率の向上を目指すとして低下しやすい繁殖についての知識・知見を、講義や実習等で習得する。牛肉の格点け方法を習い、目指すべき品質についての磨かれたセンスも習得する。一方で、生産に関わる細胞や遺伝子について、培養や発現解析などにも挑戦する過程で、分子レベルや細胞レベルでも、家畜生産について考える能力を習得する。また臨床獣医師をめざす学生用の実習などにも参加しながら様々な技術も習得する。さらに山口県内をはじめ、日本国内の牛肉生産のための重要な施設を訪問し、研修終了の後の帰国後に農家レベルや、地域集団レベルで取り組むべき改善ポイントを習得する。</p>
研修計画 （内容）	<p>最新の栄養学や生理学や衛生学等の講義や実習等 牛肉の格点け方法 生産に関わる細胞の培養や遺伝子発現解析などへの挑戦 臨床獣医師養成用の実習などへの参加 山口県内をはじめ日本国内の牛肉生産のための重要な施設の訪問</p>

<p>本研修実施の意義 中南米日系社会への裨益効果</p>	<p>講義や実習等で習得した、高品質畜産物を生産する上で求められる最新の知識・知見を、現地日系社会で発揮する。また、各国の消費者のため目指すべき品質についての磨かれたセンスも習得する。さらに習得した分子レベルや細胞レベルで考える能力を基に、より現地にあった科学的な家畜生産体型を形成し発展させられるような能力も得られる。また、習得した様々な技術や視点は、研修終了後に帰国した後に、農家レベルや、地域集団レベルで改善に取り組むべきポイントを明確にすることにも役立つ。これらを経て、現地日系社会の農家や消費者のために、非常に重要な専門家として活躍するための基盤を確立する。</p>
<p>応募希望者への特記事項</p>	